



# 2014年12月期 決算説明会資料

## 2014年実績および2015年度業績予想

**財務責任者**  
**見浪 直博**

※本資料に含まれる数値は各事業の業績を分かりやすく説明するために使用しており、財務諸表の数値と異なる場合があります。  
※各指標の注記は、slide25をご覧ください。

## 将来に関する記述等についてのご注意

本資料には、当社又は当社グループの業績に関連して将来に関する記述を含んでおります。かかる将来に関する記述は、「考えています」「見込んでいます」「予期しています」「予想しています」「予見しています」「計画」「戦略」「可能性」等の語句や、将来の事業活動、業績、事象又は条件を表す同様の語句を含むことがあります。将来に関する記述は、現在入手できる情報に基づく経営者の判断、予測、期待、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。これらの記述ないし事実又は前提（仮定）については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もなく、当社としてその実現を約束する趣旨のものでもありません。また、かかる将来に関する記述は、さまざまなリスクや不確実性に晒されており、実際の業績は、将来に関する記述における見込みと大きく異なる場合があります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げることができます（なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません）。

- (1) 喫煙に関する健康上の懸念の増大
- (2) たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更（増税、たばこ製品の販売、国産葉たばこの買入れ義務、包装、ラベル、マーケティング及び使用に関する政府の規制等）、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
- (3) 国内外の訴訟の動向
- (4) 国内たばこ事業、海外たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- (5) 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- (6) 市場における他社との競争激化、銘柄嗜好の変化及び需要の減少
- (7) 買収やビジネスの多角化に伴う影響
- (8) 国内外の経済状況
- (9) 為替変動及び原材料費の変動
- (10) 自然災害及び不測の事態等



# 全社実績 財務報告ベース

# 財務報告ベース全社実績

(億円)

	<u>2013年度</u> <u>(4-3月)</u>	<u>2014年度</u> <u>(4-12月)</u>
売上収益	23,998	21,540
調整後営業利益 <sup>1</sup>	6,418	5,886
営業利益	6,483	4,998
当期利益 <sup>2</sup>	4,280	3,629
FCF	2,126	4,807

(円, %)

基本的EPS (円)	235.48	199.67
配当金 (円)	96.00	100.00
配当性向	40.8%	50.1%

\*海外事業はいずれも1-12月実績

## 2014年実績および2015年度見込（Like for Like ベース比較）

### ■ 2014年実績：2014年1-12月実績と2013年1-12月参考数値との比較

	2013年度				2014年度			
	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月
国内	<b>2013年 1-12月</b>				<b>2014年 1-12月</b>			
海外								

#### Like-for-Like (L-f-L) ベース数値について

- 2014年1-12月の全社「売上収益」「営業利益」「調整後営業利益」「親会社に帰属する当期利益」につきましては、監査対象である有価証券報告書「経理の状況」に記載される予定となっております。
- 2013年1-12月数値は、2014年1-12月実績と同様の方法で算定しておりますが、監査を受けていない参考数値です。

### ■ 2015年度見込：2014年1-12月実績との比較

	2014年度				2015年度			
	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月
国内	<b>2014年 1-12月</b>				<b>2015年度</b>			
海外								



# 全社実績 L-f-L ベース (2014年1-12月実績)

# 為替一定ベース調整後営業利益は二桁成長

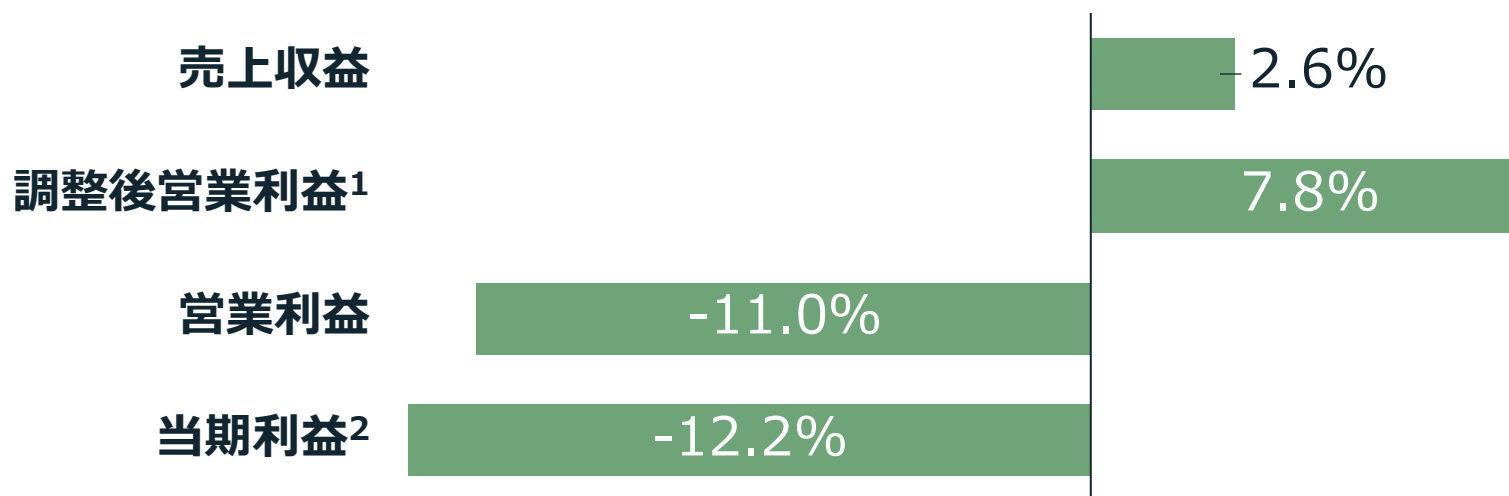
調整後営業利益<sup>1</sup> (為替一定ベース)

調整後EPS<sup>3</sup> (為替一定ベース)

**+10.6%**

**+11.1%**

## 主要指標成長率 (為替影響込み)



## 事業別実績

### L-f-L ベース(2014年1-12月実績)



# 力強いプライシングにより為替一定ベースで二桁利益成長を達成

(億本,百万US\$,%)

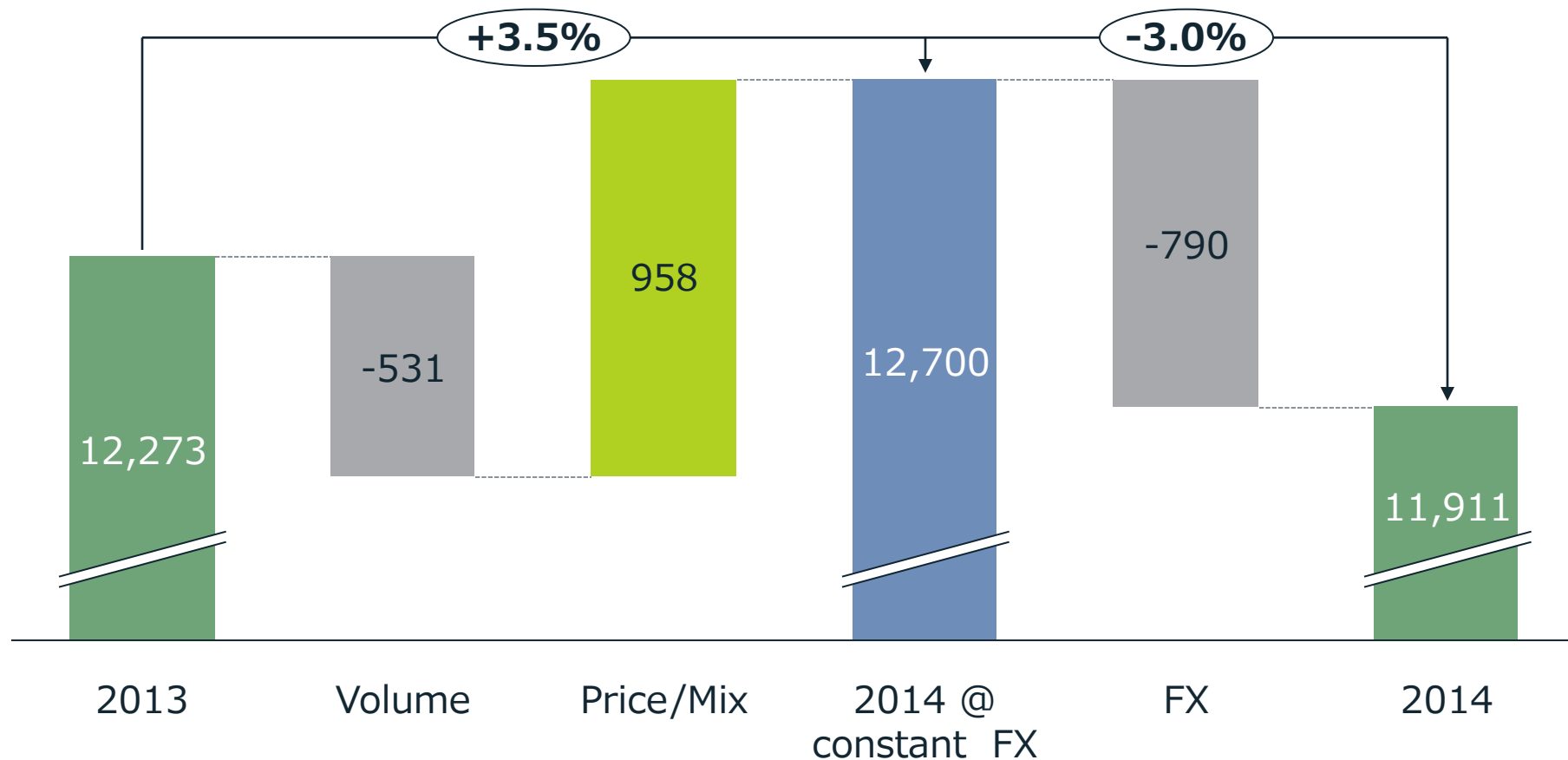
	2013年	2014年	増減率
総販売数量 <sup>4</sup>	4,175*	3,980	-4.7%
GFB販売数量	2,675*	2,622	-2.0%
<b>為替一定ベース</b>			
自社たばこ製品売上収益 <sup>5</sup>	12,273	12,700	3.5%
調整後営業利益 <sup>1</sup>	4,206	4,757	13.1%
<b>報告ベース</b>			
自社たばこ製品売上収益 <sup>5</sup>	12,273	11,911	-3.0%
調整後営業利益 <sup>1</sup>	4,206	4,253	1.1%
<b>円ベース (億円)</b>			
自社たばこ製品売上収益 <sup>5</sup>	12,007	12,582	4.8%
調整後営業利益 <sup>1</sup>	4,108	4,471	8.8%

\*Fine cutカテゴリーの消費動向について調査した結果に基づき、High Volume Tobacco製品を紙巻きたばこ相当に換算する際の換算レートを2014年より変更。2013年度数値についても同換算レートを遡及適用しております。

# 総需要減少が継続する中、トップライン成長を実現

(百万US\$)

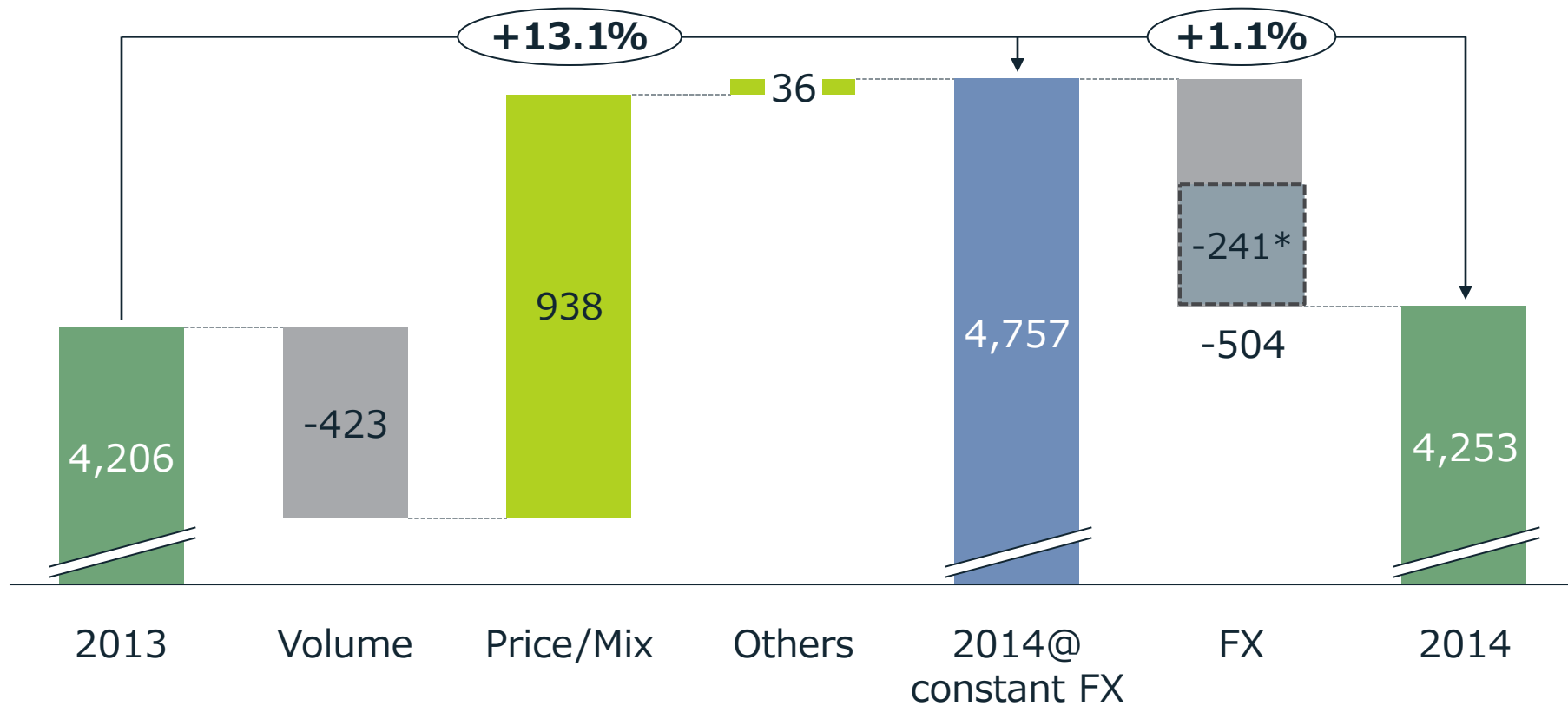
## 自社たばこ製品売上収益<sup>5</sup>



# プライシングが利益成長に大きく貢献

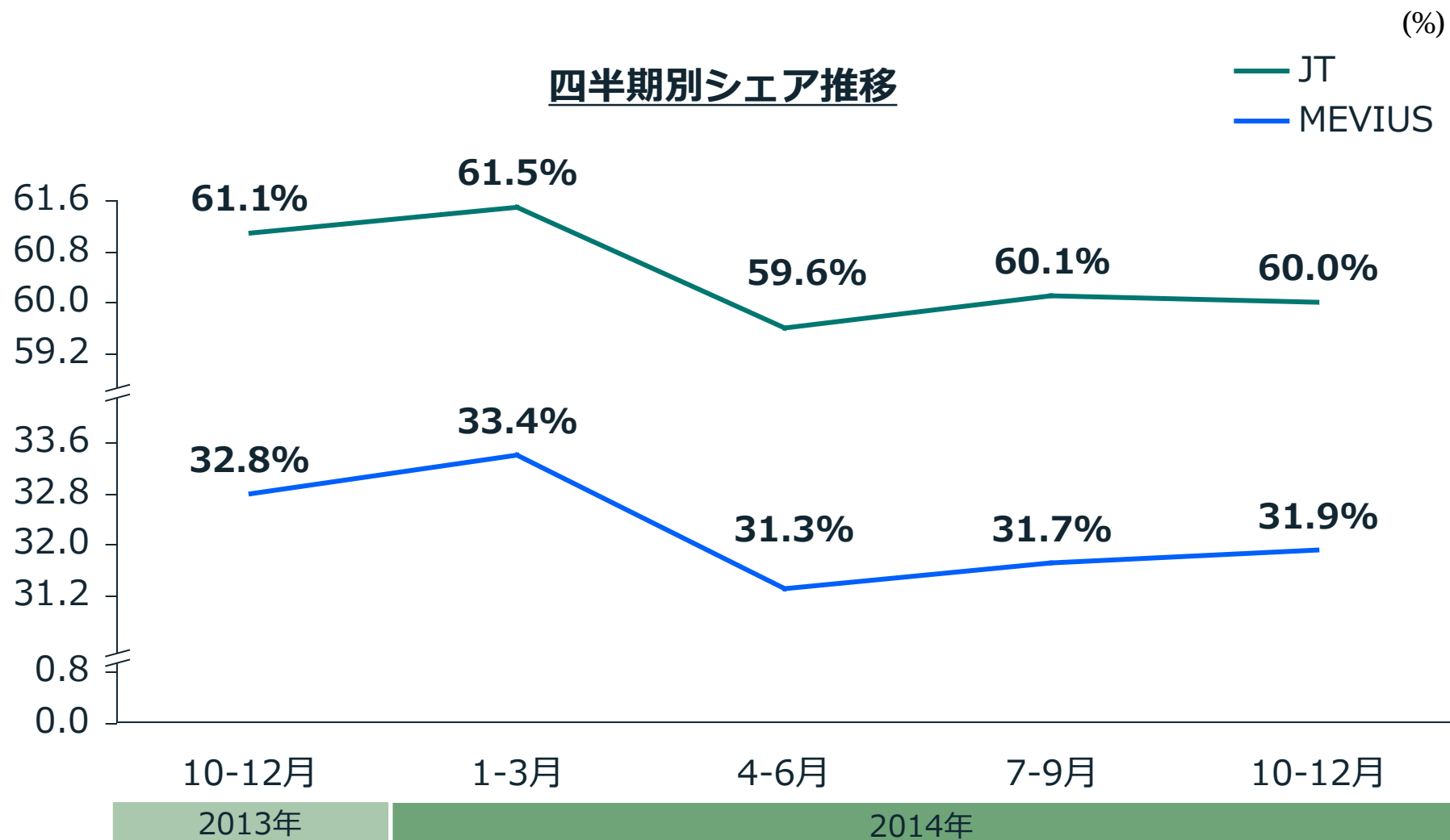
(百万US\$)

## 調整後営業利益<sup>1</sup>



\*2014年 10-12月期 FX影響分

# 競争が激化する中、MEVIUSを中心にシェアは堅調

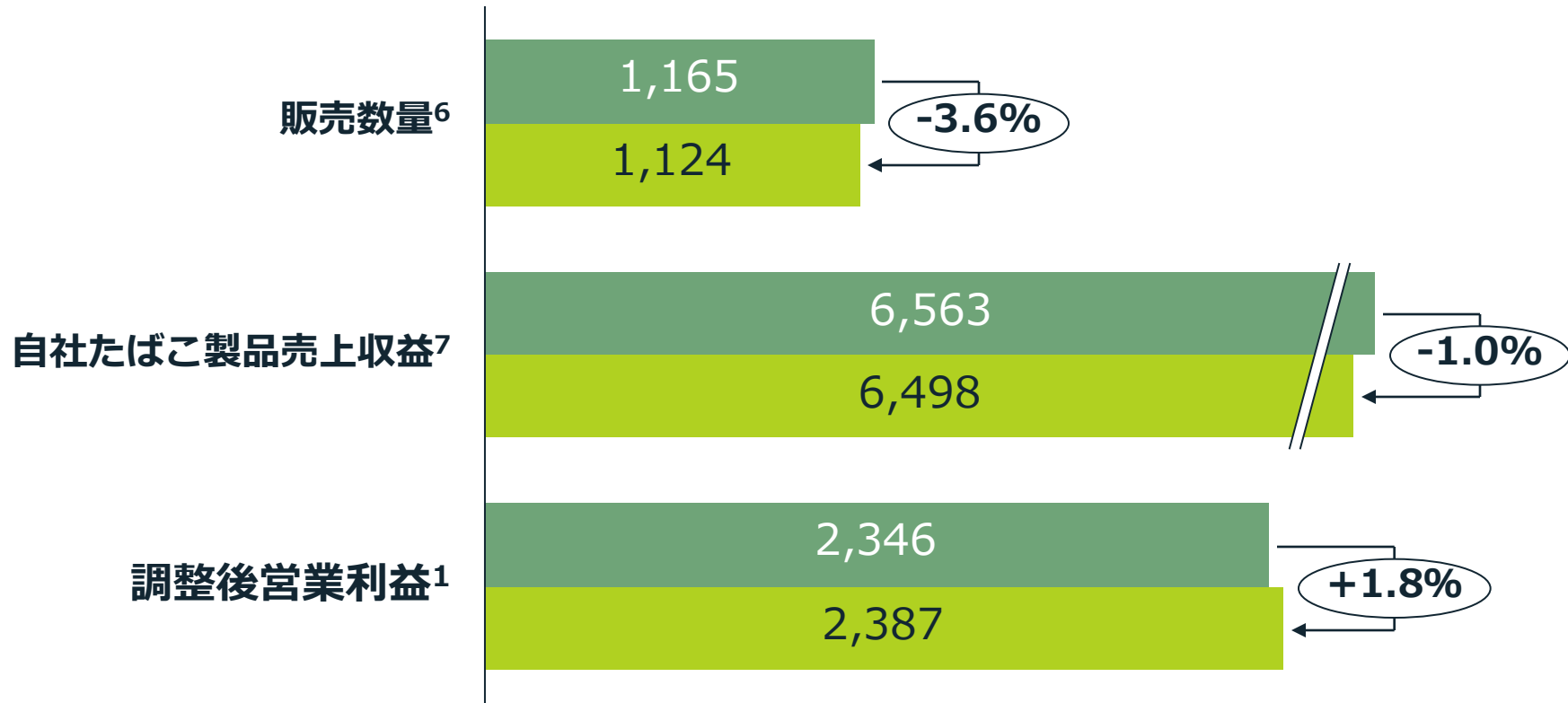


# ブランドエクイティ強化が貢献し、単価効果が発現

## 主要指標

(億本, 億円, %)

■ 2013年1-12月  
■ 2014年1-12月



## 医薬・飲料・加工食品事業は損益が改善

(億円)

	<u>2013年1-12月</u>	<u>2014年1-12月</u>	<u>増減額</u>
<b>医薬事業</b>			
売上収益	582	<b>658</b>	<b>+76</b>
調整後営業利益 <sup>1</sup>	-137	<b>-73</b>	<b>+63</b>
<b>飲料事業</b>			
売上収益	1,838	<b>1,813</b>	<b>-25</b>
調整後営業利益 <sup>1</sup>	-21	<b>-5</b>	<b>+16</b>
<b>加工食品事業</b>			
売上収益	1,572	<b>1,612</b>	<b>+40</b>
調整後営業利益 <sup>1</sup>	6	<b>14</b>	<b>+8</b>



## 2015年度見込



## 全社見込



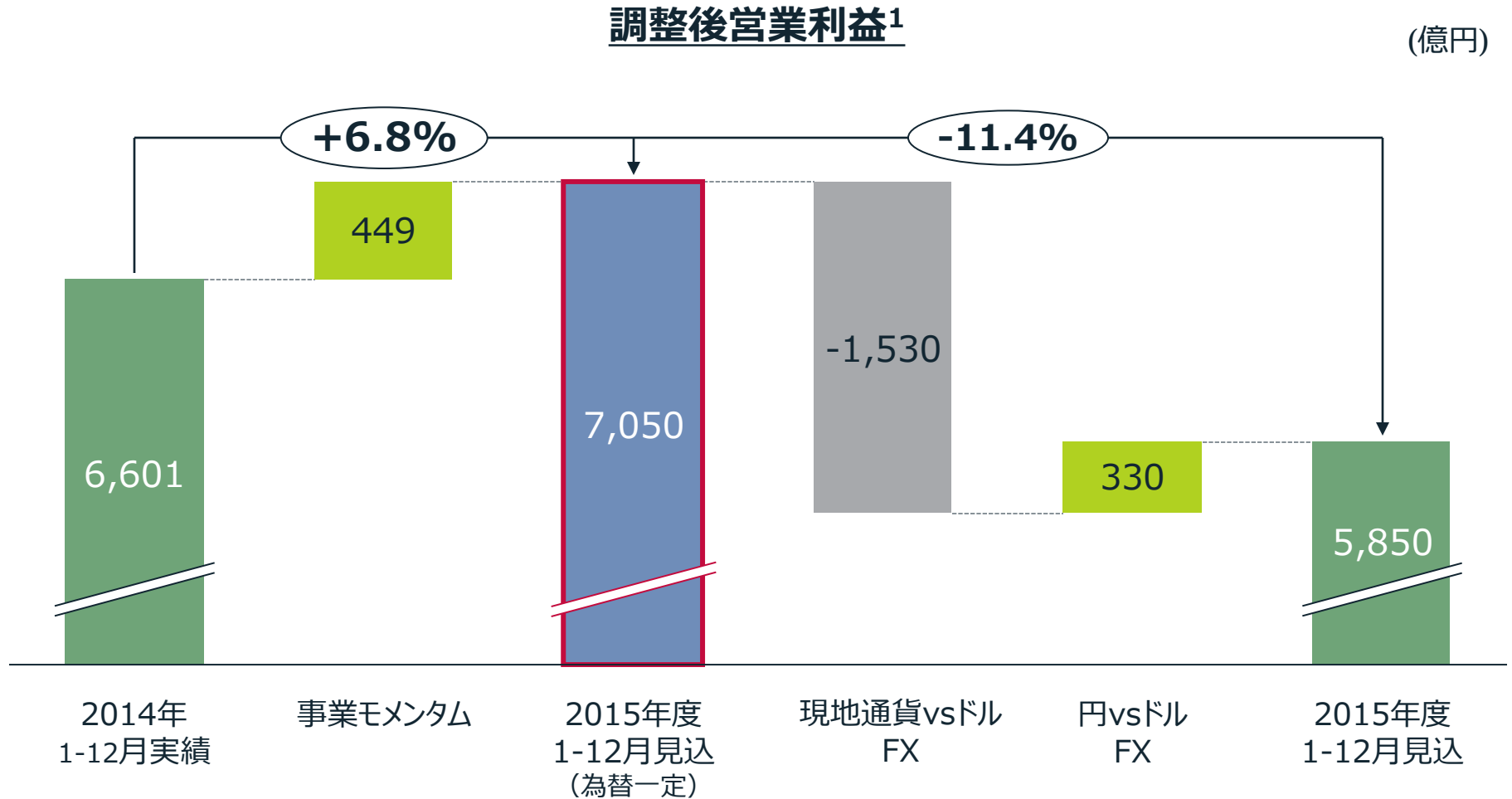
## 為替のネガティブな影響を織り込み、減収・減益

(億円, %)

	<u>2014年</u> <u>1-12月</u>	<u>2015年度</u> <u>1-12月</u>	<u>増減率</u>
売上収益	24,335	23,800	-2.2%
調整後営業利益 <sup>1</sup> (為替一定ベース)	6,601	7,050	6.8%
調整後営業利益 <sup>1</sup>	6,601	5,850	-11.4%
営業利益	5,718	5,390	-5.7%
当期利益 <sup>2</sup>	3,891	3,870	-0.5%
基本的EPS	214.06	212.92	-0.5%
FCF	4,554	2,820	-38.1%
資本的支出	1,409	1,610	14.3%

\*2月4日に発表したJT飲料製品の製造販売事業からの撤退の影響を含んでおりません。

# 為替一定ベース調整後営業利益の6.8%を成長を目指す



## 事業別見込

## 為替一定ベース調整後営業利益は8%成長を見込む

(億本,百万US\$,%)

	2014年	2015年	増減率
総販売数量 <sup>4</sup>	3,980	3,920	-1.5%
GFB販売数量	2,622	2,650	1.1%
<b>為替一定ベース</b>			
自社たばこ製品売上収益 <sup>5</sup>	11,911	12,500	4.9%
調整後営業利益 <sup>1</sup>	4,253	4,595	8.0%
<b>報告ベース</b>			
自社たばこ製品売上収益 <sup>5</sup>	11,911	10,600	-11.0%
調整後営業利益 <sup>1</sup>	4,253	3,150	-25.9%
<b>円ベース (億円)</b>			
自社たばこ製品売上収益 <sup>5</sup>	12,582	12,190	-3.1%
調整後営業利益 <sup>1</sup>	4,471	3,620	-19.0%

# 為替前提レートと感応度

	<u>2014</u> 実績	<u>2015</u> 見込	<u>対前年</u>
RUB/\$	38.40	65.00	40.9%安
GBP/\$	0.61	0.64	5.1%安
EUR/\$	0.75	0.90	16.3%安
CHF/\$	0.91	0.90	1.7%高
TWD/\$	30.31	31.15	2.7%安
TRY/\$	2.19	2.25	2.8%安
JPY/\$	105.79	115.00	8.7%安

## 為替感応度：

- 前提レートからの為替変動が利益に与える影響
- 算定ベース：2015年調整後営業利益 3,150MM\$

ドルに対し円以外のすべての通貨が同方向に1%変動



ドルベース調整後営業利益が40MM\$程度変動

40MM\$の変動を構成する主な通貨および内訳：

RUB35%、GBP25%、EUR15%、

TWD15%、TRY5%、CHF-15%

円換算時においては、

円がドルに対して1円変動

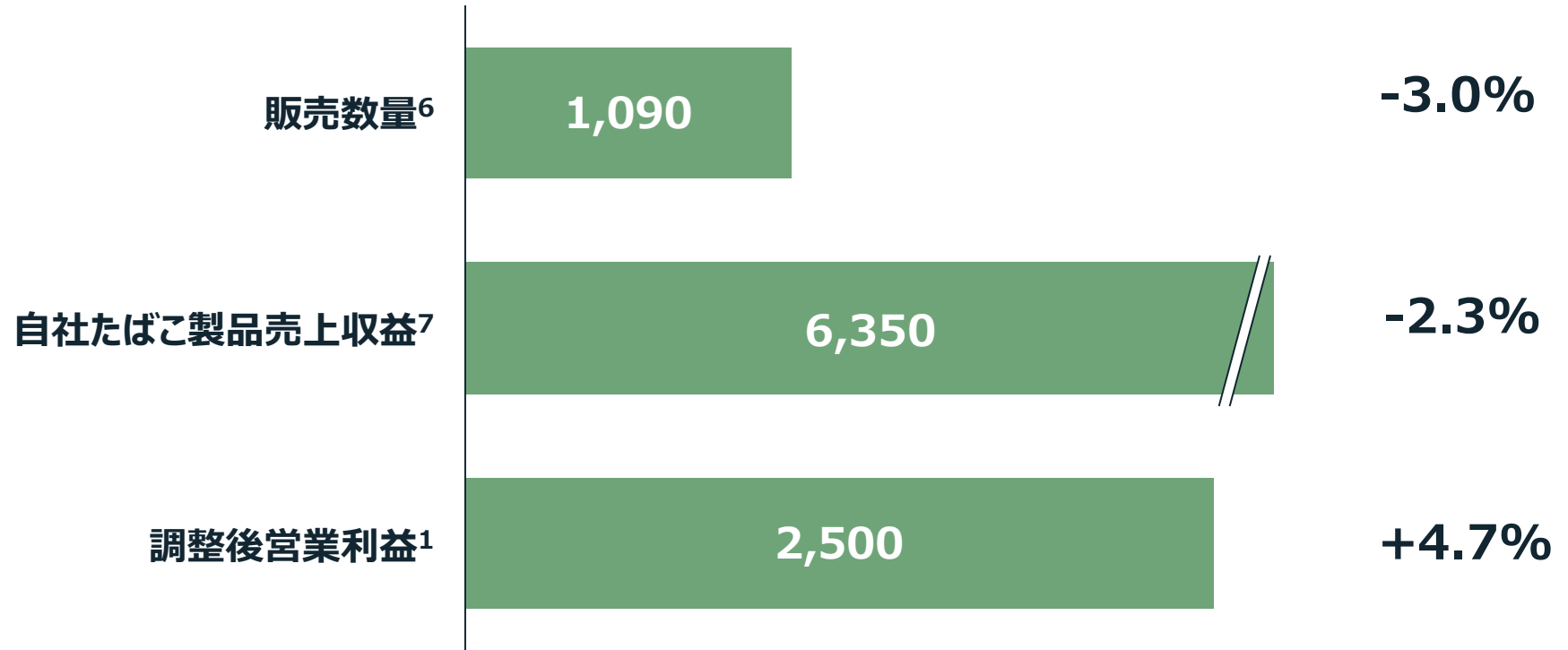


円ベース調整後営業利益が30億円程度変動

## 競争力強化に取組み、利益成長を目指す

### 2015年度（1-12月）見込

(億本, 億円, %)



## 医薬・加工食品事業：事業基盤強化を継続

(億円)

	<u>2014年</u> <u>1-12月</u>	<u>2015年度</u> <u>1-12月</u>	<u>増減額</u>
<b>医薬事業</b>			
売上収益	658	740	+82
調整後営業利益 <sup>1</sup>	-73	-45	+28
<b>加工食品事業</b>			
売上収益	1,612	1,680	+68
調整後営業利益 <sup>1</sup>	14	15	+1
<b>飲料事業*</b>			
売上収益	1,813	1,840	+27
調整後営業利益 <sup>1</sup>	-5	0	+5

\*2月4日に発表したJT飲料製品の製造販売事業からの撤退の影響を含んでおりません。

# 事業投資を通じた持続的利益成長を追求

全社中長期目標

調整後営業利益（為替一定ベース）年平均成長率

**Mid to high single digit**

**2015年度 : 対前年6.8%成長**



## <注記>

- 1調整後営業利益： 調整後営業利益 = 営業利益 + 買収に伴い生じた無形資産に係る償却費 + 調整項目（収益及び費用）\*  
\*調整項目（収益及び費用） = のれんの減損損失 ± リストラクチャリング収益及び費用等
- 2 当期利益： 親会社の所有者に帰属する四半期利益/当期利益
- 3調整後EPS： 調整後EPS = 当期利益（親会社所有者帰属）±調整項目（収益及び費用）\*±(調整項目にかかる税金相当額及び非支配持分損益)]/(期中平均株式数 + 新株予約権による株式増加数)  
\*調整項目（収益及び費用） = のれんの減損損失±リストラクチャリング収益及び費用等
- 4総販売数量： 水たばこ/Emerging Products/製造受託を除き、Fine Cut/Cigar/Pipe/Snus込み  
(海外たばこ事業)
- 5自社たばこ製品売上収益： 物流事業、製造受託等を除き、水たばこ、Emerging Productsの売上込み  
(海外たばこ事業)
- 6販売数量： 国内免税販売及び中国事業部分を含まない  
(国内たばこ事業)
- 7自社たばこ製品売上収益： 輸入たばこ配送手数料収益等を控除  
(国内たばこ事業)